# 「主体的・対話的で深い学び」を支援する技術教室の在り方

- A 中学校技術教室の改修工事の設計、実践を事例として -

学籍番号209334氏名倉田 伸吾主指導教員永冨 一之

#### 1. はじめに

我が国の学校施設は、第二次ベビーブーム世代の就学時期である昭和40年代後半から50年代 (1970-1985年) に建築された建物が多く、その老朽化対策として、築40年以上経過した施設を改築せず、長寿命化改修によって対応する方針で進められている。このような中、令和元年度にA中学校の長寿命化改修工事が行われた。その際、「主体的・対話的で深い学び」を支援する学習環境整備の視点から、技術教室に求められる施設整備の方向性を検討し改修を行った。

実践課題研究では、改修されたA中学校の技術教室の特徴を活かした指導計画を立案し、この 実践を通して、設計・改修内容を評価すると共に、今後の技術・家庭科技術分野での、ものづ くり学習施設・設備の在り方を探る。

## 2. A中学校の技術教室

A中学校における技術分野関係諸室は、第一技術室、第二技術室、技術準備室、倉庫の4室がある。改修前まで、第一技術室はコンピュータ教室として、第二技術室は木工など実習室として、技術準備室は教員の教材研究の場および教材教具置き場として使用されていた。改修に際しては、「主体的・対話的で深い学び」を支援する学習環境整備の視点から、第一技術教室をメディアスペースとして、第二技術教室をワークショップとして、技術準備室をラーニングコモンズ

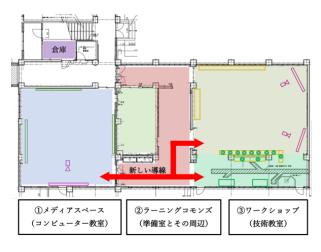


図1 改修後の技術関係諸室

(準備室+オープンスペース) としての機能充実を図る設計を行った(図1)。

#### 3. 研究計画

本研究では、改修されたA中学校の技術教室の基本的な施設整備を進め、その施設設備の特徴を活かした指導計画を実践し、技術教室の「主体的・対話的で深い学び」の実践としての機能を検証する。 基本的な施設整備では、技術教室の具体的な施設整備は以下の計画のもと整備を行うことにした。①メディアスペース:バリアフリー化した広い空間を使用した多様な学習形態、ICT環境、デジタル加工機械の利用をするために、空間の確保、移動式の机の配置、デジタル

加工エリアの整備。②ワークショップ:安全で能率的な作業空間にするため、加工器具の収納 システム、工作機械の収納・配置方法、および材料の保管・整理方法の整備。③ラーニングコ モンズ : オープンスペース化した空間における主体的学びを支援する展示物・掲示物等の整 備。さらに、技術教室の特徴を活かした「主体的・対話的で深い学び」の指導計画は、「調べる活 動」「話し合う活動」「発表する活動」「確かめる活動」に区分し、 メディアスペースでの学習活動 を核として、ワークショップやラーニングコモンズ の機能を関連づけ、技術分野内容「A 材料 と加工の技術」での指導計画として立案し、授業を行う計画とした。

### 4. 結果

## 4.1 施設整備について

①メディアスペース:「机配置」: 横11m×幅10mのバリ アフリー化した空間での多様なグループ学習時の机配置 位置の確認を行った。

②ワークショップ:「工具道具の収納システム」は工具の 場所、数が簡単に分かるよう工夫した種類別収納箱を製 作した(図2)。それを移動可能なラックに乗せ、生徒が 道具を準備する際に一箇所に集まらないように使用す る。「材料の保管・整理方法」は生徒が必要な寸法の材料 を探しやすいよう、本棚に本を収納するように、材料を 立てて収納する棚を製作した。

③ラーニングコモンズ:「展示物・掲示物」は技術に関 係する書籍や動画が視聴可能なスペースや、生徒の興味 関心を高めるため、新しい技術に関するニュース記事や 生徒のデジタル作品が掲示されるディスプレイ型掲示板 の整備を行った(図3)。

## 4.2 指導計画とその授業実践について

改装した技術関連諸室を「主体的・対話的で深い学び」 を支援する学習環境整備の視点から検証するために、メ ディアスペースを活用した内容 A「材料と加工の技術」 での指導計画を立案した。指導計画では、3DCAD ソフト を利用した設計活動のある授業と対話的な学習として製 作品の構想を発表する活動を取り入れた授業を取り入れ た。



図2 工具収納箱



図3 ディスプレイ型掲示板



図 4 3DCAD ソフトを利用した設計活動

3DCAD ソフトを利用した設計活動の授業実践では2次元的に立体を捉えることが難しい生徒 でも簡単に設計活動を行うことが可能となった(図4)。対話的な学習の授業では作成した3Dモ デルを使用し、構想発表会を行い、質疑応答などで他の人からの意見を聞く機会を増やすこと ができた。授業実践の結果、教室の利用頻度の改善と対話的な学習が実践しやすい新たな技術 教室の改装例を提示することができた。